

第31回三重大学言語学コロキウム

(GLOW in Asia Workshop for Young Scholars プレイベント)

米国 マサチューセッツ工科大学 (MIT) 教授

宮川 繁 先生

「『ことば』っていったいなんだろう？

(人間の言語とは何か?)」

日時：7月1日(金) 午後4時30分～午後6時

場所：三重大学人文学部1階 第2講義室

**入門的な内容です。参加費などは必要ありません。
海外で活躍する日本人研究者のお話を聞ける貴重な機会です
ので、どなたでもお気軽にご参加ください！**

問い合わせ先： 三重大学人文学部 杉崎 鉦司 (sugisaki@human.mie-u.ac.jp)

発表内容紹介

村上春樹が書いた数多くの本が英語などに翻訳され、日本語に負けないほど爆発的に売れている。「西洋の言語は論理的だが、日本語はそうではない」ということをよく聞く。村上春樹の翻訳者は、ただ日本語を英語になおしただけではなく、非論理的なことばを論理的なものにしたのであろうか。いったい人間の言語とは何なのだろうか。論理的な言語とそうではない言語があるのであろうか。理論言語学では、言語の普遍的な性質がある程度、解明されている。どの言語も持っている性質がいくつかあり、その性質が人間性を表しているとも考えられる。このような観点から人間の言語を見ると、論理的／非論理的のような区別はなりたたない。

講師紹介

宮川繁先生は、1991年より、マサチューセッツ工科大学(MIT)において、言語学教授として、また、高知・万次郎寄付講座の記念教授として勤務なさっています。言語学関連の出版物には著書6冊(*Why Agree? Why Move? Unifying Agreement-based and Discourse Configurational Languages*, 2009年10月, MIT Press; *Oxford Handbook of Japanese Linguistics*, Oxford University Press (co-edited), 2008年など)、また50以上の学術論文があります。言語学研究と並行して、インターアクティブの教育用プログラム構築の為の研究所も運営なさっています。多言語、多文化社会における個人の人格的成長に目を向けたプログラム、*StarFestival* は、MacWorldエキスポにおいてベスト・オブ・ショーを、また、MIT教育への最も意義深い貢献としてIrwin Sizer賞を受賞されております。教育工学雑誌Convergeは、宮川先生を、全米20名の「未来の牽引者」の一人として選出しています。宮川先生はMIT OpenCourseWare立ち上げ当初の初代運営委員を務められ、日本、及び、その他の地域におけるopencoursewareの立ち上げを支援なさってきました。MIT OpenCourseWare顧問委員会の委員長でもいらっしゃいます。宮川先生は、1975年に東京のICU(国際基督教大学)で学士号を取得、1980年にアリゾナ州立大学で言語学博士号を取得なさっています。

GLOW Glow in Asia Workshop for Young Scholarsは、本年9月7-8日に三重大学三翠ホールにおいて開催されます。アジアを中心とした世界各国からの若手研究者により、理論言語学の諸分野に関する最新の研究成果が報告・討論されます。(三重大学及び三重大学人文学部多文化共存センター主催)